

お浄土というナビゲーションシステムは、私の人生の「現在地」を常に示している

あなたの「生きる」を支えるお寺

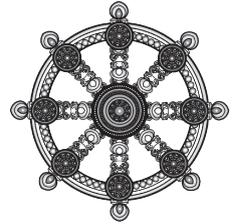
毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゆんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.355



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵 (漢見覚恵)

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス :purity.temple.since1499@gmail.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

12月8日(月)

10:00~12:00 13:30~15:30

成道会

お釈迦さまがお悟りを

お開きになった記念日

お勤め(午前午後共)

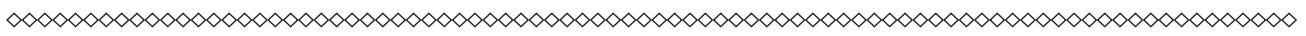
『仏説阿弥陀経』

法話

純正寺住職

「お釈迦さま、その

降誕から成道まで」



12月25日(木) 10:00~12:00
13:30~15:30

こんき常例布教

ご法話 大津組永順寺 石川 教夫 師

住職法話 我聞如星

われかくのごとくきく

わがこころのよくて

ころさぬにはあらず①

犯罪者は悪い人？

罪とは、悪い心があるから犯すのでしょうか。

インターネット上のニュースサイトでは、犯罪のニュースに対するコメント欄で、犯罪加害者・被害者双方に対して、時に人権侵害とも言える非難や批判の書き込みがなされています。それは、まるで読者が「正義の味方」になって犯罪加害者・被害者を懲らしめるような行為に思えて、今の私はとてもつらく悲しく思っています。「今の私は」です。

先日、新聞に掲載されていた記事です。ある市で、救護施設が建設される計画

が進んでおり、建設予定地周辺の住民対象の現地説明会が開かれました。身体や精神に障がいなどがあり日常生活を営むことが困難な人たちが入所する『救護施設』。生活サポートを受けながら共同生活や自立を目指す施設で「最後のセーフティーネット」とも呼ばれています。ところが、説明を聞いた地域住民の方々は「刑務所を出所した人や犯罪歴のある人も入所するのでしょう？そんな危ない人が地域をうろろさらしたら、安心して外出もできません」との苦情が殺到して、結局保護施設の建設は

中止になった、という記事でした。この記事を読んで、私は「きつとそう思うよね、以前の私なら」と思ったのです。

教誨師を断れず

私は、二十二年前から教誨師という職務をいたたいています。教誨師とは、刑務所や拘留所、少年院などの刑務矯正施設で、収容されている人（被収容者）の改善更生を促すために、宗教的な教えを説いたり、心のケアをしたりする宗教者のことを言います。

全国七十四カ所の刑務施設（刑務所、拘留所）、全国四十八ヶ所の少年院で、現在千八百名余りの教誨師が活動をしています。教誨師の内容は、主に被収容者との面接です。集合教誨と個人

教誨があり、集合教誨は一人の教誨師と複数の被収容者との面接で、個人教誨は教誨師と被収容者が一対一です。面接のことを言います。

二十二年前、浄土真宗本願寺派滋賀教区から「教誨師になっていただけませんか」と依頼がありました。その時の私は、教誨師という言葉は知ってはいましたが、教誨師に関心はありませんでした。それどころか「刑務所で犯罪者と面接するなど、そんな恐ろしいことしたくない」と、教誨師の依頼をお断りしたのです。しかし、退任される前任の教誨師さんが「この職務は、できるだけ長い間務めていただきたいので、できるだけ若い僧侶に引き継ぎたい」との意向があるのだと、教

区から何度も依頼がありましたので、根負けして引き受けることになったのです。今から思えば、自分自身何ともお粗末な僧侶だと恥ずかしく思います。

教え教わる教誨師

そして、初めての教誨の日になりました。刑務所に到着した私を、刑務官さんは控え室に案内してください、お茶を出してくださいながら「先生、初めての教誨ですってね。この受刑者は、初めての教誨師さんをからかったり脅かしたりすることもありませんから、どうか気をつけてくださいね」とおっしゃいました。それを聞いた私は、恐ろしさで心が震え「もう帰りたい」と思ったのです。し

かし、帰るわけにもいきません。迎えに来られた刑務官さんの後について、私は生まれて初めて鍵のかかった鉄格子の扉の向こうに入って行ったのです。

それから二十二年、私は一体何人の被収容者に対して教誨をしてきたか数えても覚えていません。しかし、これだけは確かなのは、二十二年間で私をからかったり脅かしたりした被収容者は一人もいなかったということです。その代わりに、彼らが私に話してくださったのは「なぜ、このようなことをしてしまったのだらう」という後悔。「自分のせいで家族や友人に迷惑をかけてしまった」という懺悔。「家族が面会に来てくれないので、手紙を書くが返事も来ない。やっと手

紙が返ってきたと思ったら、離婚届が入っていた」という悲しみ。「もうすぐ満期出所を迎えるが、帰るところも仕事もない」という不安。そんな言葉の数々でした。

しかし、被収容者との教誨の中でこのような言葉を聞き続けているうちに、私の中で犯罪者に対する思いが変わってきたのです。どのようなように変わってきたのかというと、刑務所の中にいる人間は怖くて悪い劣った人間だという思いと、私は良い優れた人間だという思いから、刑務所の中にいる人と刑務所の外にいる私との間には、人間的に優劣などの差異はないのだという思いに変わってきたのです。教誨とは、被収容者に「教(誨)える」と同時に、被収容者から「教わる」職務で

した。

「犯す」から「至る」へ

では、優劣などの差異が無い両者の間で、なぜ刑務所に入らねばならない人とそうで無い人が分かれるのでしょうか。それは、その人の身の上に重なる条件の違いでした。もし、その人が罪に至るのに十個の条件が必要であるとすれば、私には今のところまだ九個の条件しか整っていないということなのです。私の身の上には、あと一つ何らかの条件が重なれば、私もその罪に至って刑務所に入ることになるということなのです。

私は、教誨師の職務を通じて、いつの間にか「罪を犯す」と表現をせず「罪に至る」と表現するようになっていました。 続く



12月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



キッズサンガ「ほとけの子ども会」

13日(土)・27日(土)
10:00~12:00

就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めをして、仏典童話を聞きながら仏教の感性を学びます。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

21日(日)
15:00~17:00

小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。おやつタイムもあります。

みんなの食堂ビハーラ

10日(水)・24日(水)
17:00~19:00

年齢・性別は問いません

子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる楽しい食事と学習の時間。事前にお申し込みください。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

21日(日)
18:00~20:00

年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

2日(火)・9日(火)・16日(火)
10:20~11:30

年齢・性別は問いません

お香とオルゴールの音色の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

「月例法話座談会」

22日(月)
14:00~16:00

年齢・性別は問いません

日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

みんな法友こんき常例布教

25日(木)
10:00~12:00.13:30~15:30

年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えた気楽なご法座です。ご法話は、大津市永順寺の石川教夫師です。

釈尊が真理に目覚めた日「成道会」

8日(月)
10:00~15:30

年齢・性別は問いません

お釈迦さまが悟りを開かれた、仏教徒として大切な日です。純正寺住職の法話があります。

一年の締めくくり「除夜会」

31日(水)
18:00~19:00

年齢性別は問いません

色々あった一年を、お勤めと共に振り返り、おぜんざいと共に豊かに年を越しましょう。

年末恒例「お餅つき」

28日(日)11:00~13:00
年齢性別は問いません

お正月用の飾りもちを、昔ながらの臼と杵でつきます。最後のころみもちは、みんなで美味しくいただきます。

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブ配信もしています。

お知らせとお願い
十二月は、純正寺門徒会年会費の後期納入月です。後期一括・前後期分割、いずれの方も地区委員さんや住職にお渡しいただくか、専用振込用紙でのお振込をよろしくお願いたします。

滋賀県最高峰の伊吹山が初冠雪しました。いよいよ、本格的な冬の到来です。今月も、二三五〇個のキャップをお預かりいたしました。